

先日の学校のひとコマで紹介したS I P事業への取り組みの続報です。本校科学部は、T o k y oサイエンスフェアにて「恐怖と笑いのメカニズムに迫る」というタイトルでポスター発表をしました。

今回は、その続報として、科学部の生徒たちの感想などを交えて、お知らせします。



◆12月12日（月）当日参加した生徒さんが校長室に来て、報告をしてくれました。
当日のパンフレットを手に、自分たちが発表した際の手応えや、他校の取り組みの紹介を聞いて、刺激を受けたことなど、生き活きと話してくれました。

◆12月14日（水）には、S I P事業の進行状況の視察に東京都教育委員会の方が来られました。
その際に、科学部の生徒の皆さんは、担当の職員の方に、通常の活動の様子、今回の発表について、これからの展望について、思い思いに話しました。

◆サイエンスフェアに参加しての感想

2年生 部長	時間がなくなってしまう、他校のポスターを見て回ることが出来なかったのは残念でしたがとても楽しい時間でした。あらゆる見方や考え方が聞けて驚きました。次は植物もいいと思いました。
2年生 副部長	様々な題材の各学校のポスターや、説明を聞いても難しいと感じるような発表を聞いて、興味を惹かれた。行ってよかったと思う。
2年生	時間がなくなってしまう、少ししか見ることはできませんでしたが、どの学校の研究テーマもとても気になるものばかりであっという間の時間でした。
1年生	思った以上に笑いと恐怖の関係について興味を持ってくれた人が多かった。また調べてみようと思った。

◆12月14日の教育委員会の先生との話のなかで生徒が話した言葉

- 他校の研究を見聞きして、難しいところもたくさんありましたが、こんなものがあるのか！とおもしろかったです。いいきっかけになりました。
- 本校の発表について、他の学校の人が、かなり興味を持ってきて、説明ができて、楽しかった。
- 話を聞いてくれた人から、こういうのもあるのでは？というツッコミがあり、別の視点が示されて、今回の研究から、もっと詳しく解明したい。
- 今回のアンケート調査は、田無高校の生徒が中心でしたが、もっと広げていけたらいいなと思った。

◆教育委員会の担当の先生からは、活動について、お褒めいただくとともに、今の気持ちを大切にすることや、統計学について学ぶとより研究が深まりますねとアドバイスをいただきました。